

令和4年6月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,566	8,851	4,510	4,341	54	53
2 千 石	3,974	6,692	3,426	3,266	42	48
3 内 山	5,596	7,919	4,217	3,702	42	57
4 大 和	3,448	6,646	3,253	3,393	28	19
5 上 野	7,419	15,481	7,582	7,899	19	21
6 高 見	7,295	13,246	6,322	6,924	10	△ 8
7 春 岡	6,877	10,989	5,774	5,215	36	28
8 田 代	11,260	21,853	10,422	11,431	58	81
9 東 山	10,267	19,197	9,376	9,821	12	17
10 見 付	4,538	8,396	4,225	4,171	29	30
11 星 ケ 丘	3,533	6,837	3,037	3,800	9	13
12 自 由 ケ 丘	3,560	7,275	3,287	3,988	△ 4	△ 9
13 富 士 見 台	6,511	15,275	6,956	8,319	10	8
14 宮 根	3,794	8,110	3,736	4,374	8	25
15 千 代 田 橋	3,715	8,309	3,918	4,391	6	△ 5
千 種 区 計	87,353	165,076	80,041	85,035	359	378
R3. 6. 1	86,968	165,095	80,091	85,004	127	111
対 前 年 比	385	△ 19	△ 50	31	232	267
名 古 屋 市	1,140,651	2,326,239	1,142,258	1,183,981	3,616	3,298
愛 知 県 (R4. 5. 1)	3,278,648	7,497,028	3,734,225	3,762,803	12,055	7,988

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	92	142	△ 50	1,297	869	428

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598(昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727(平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の年齢3区分別人口の概況

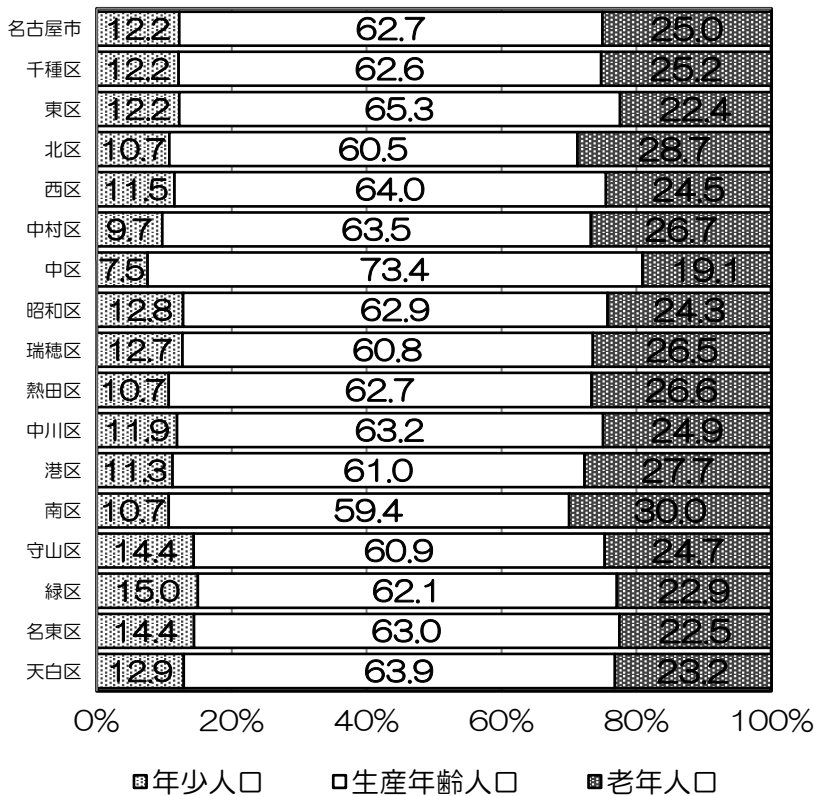


図1：区別年齢3区分別人口比率（令和3年10月1日現在）

今回はまず、千種区の年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15～64歳）および老年人口（65歳以上）の比率について見てみます（図1）。

名古屋市全体および各区の令和3年10月1日現在の年齢3区分別人口比率をみると、年少人口比率は緑区が15.0%と最も高く、千種区は12.2%で16区中8位です。

生産年齢人口比率は中区が73.4%と最も高く、千種区は62.6%で16区中10位です。

老年人口比率は南区が30.0%と最も高く、千種区は25.2%で16区中7位です。

千種区の3区分別人口比率は名古屋市の比率とほぼ同じとなっています。

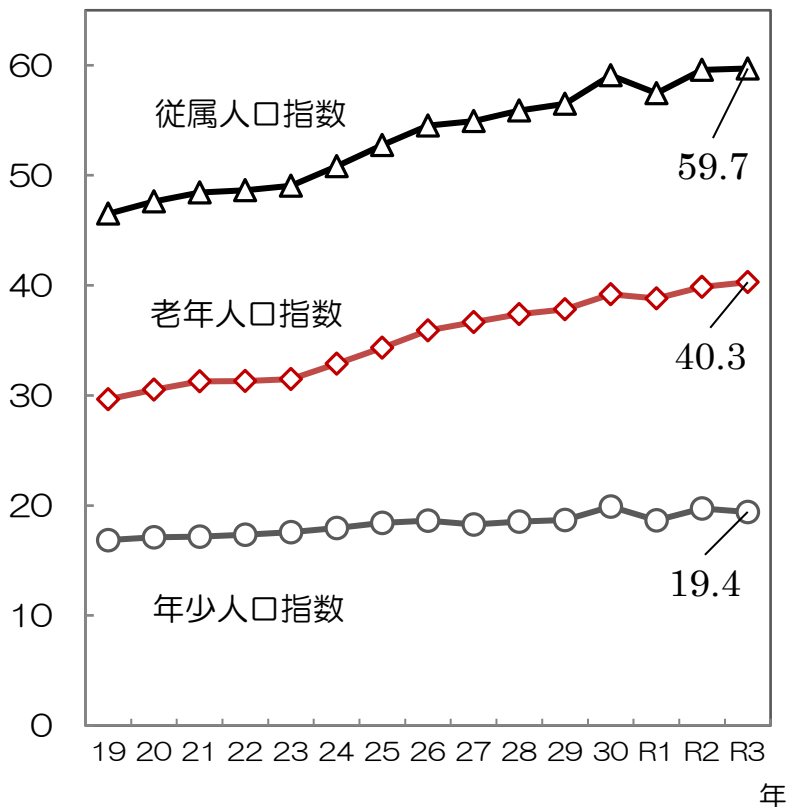


図2：千種区の年齢構成指数の推移（各年10月1日）

次に、千種区の年齢構成指数の推移を見てみます（図2）。年少人口指数および老年人口指数は、生産年齢人口100人が年少者または高齢者を何人支えるかを示すものです。また従属人口指数は、年少人口指数と老年人口指数を合計したものです。

千種区の令和3年の年少人口指数は19.4、老年人口指数は40.3で、16区中の高い方からそれぞれ7位と8位となっています。また、千種区の令和3年の従属人口指数は名古屋市全体（59.4）及び令和2年の千種区従属人口指数（59.6）を上回り59.7です。これは16区中高い方から7位（令和2年：7位）となっています。